

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、キャリアプランニング能力（学ぶこと・働くことへの理解）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。小学部入学から高等部卒業まで一貫した意識（積み重ね）で支援を継続しています。

今回はキャリアプランニング能力の一部の（学ぶこと・働くことへの理解）を取り上げます。

- 高等部 実習を通して、自分の適性について考える。
- 中学部 係の仕事は自主的に行い、自分の役割を果たす。
- 小学部 自分の身近な仕事を知るとともに、自分の係の仕事に進んで取り組む。

「キャリア発達の視点で生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部係活動>

新年度になり、ゴミ捨てや給食片付け、健康観察簿提出、楽器運びなど、それぞれが新しい係活動に取り組んでいます。あるクラスの台拭き係では、児童の拭き方をタブレット端末で撮影し、拭いた後すぐに教師と一緒に見えています。それにより、拭き残しの部分を児童が自分で確認し、やり方を修正することができました。その後拭き残しなく上手にできたことを教師に賞賛されて、次への意欲につながりました。



<中学部係活動>

中学部では、朝や昼休みなどに様々な係活動をしています。廊下や階段の清掃、ゴミ捨てなど、自分の役割が分かり、自主的に活動する姿が見られます。また、係の仕事をしながらも、廊下ですれ違う友達や先生方へのあいさつも忘れません。健康観察カードを届けることも仕事の一つです。毎日続けることで、自分の役割が分かり、いきいきと取り組んでいます。



<高等部 第I期産業現場等における実習全体事前学習>

6月6日から6月17日の10日間行われる、第I期産業現場等における実習の全体事前学習を体育館で行いました。実習の目的や、実習に向けて大事なこと等について学習しました。生徒達は、最後まで真剣な態度で集中して話を聞き、主体的にメモしたり、教師の質問に積極的に答えたりすることができました。3年生に実習の目的について質問した際には、「実習に行って働くために必要なことを勉強してできることを増やす」「苦手なことが少しでもできるようにする」「ただ仕事を覚えるだけではなく、効率よく仕事を行う」等の返答があり、実習への意欲や、1年後には社会人になるという意識の高まりを感じました。進路実現へ向けて実りある実習になることを期待します。

